

第3回学習会を、平成20年2月1日（金）19:00～20:00 教育センターにて行いましたので報告いたします。

第三回目の内容

講師 重枝一郎先生（千代中学校教諭）

- 1 「多様性トライアングル」の意義と理論
- 2 1学期の実践例
- 3 エクササイズの体験活動

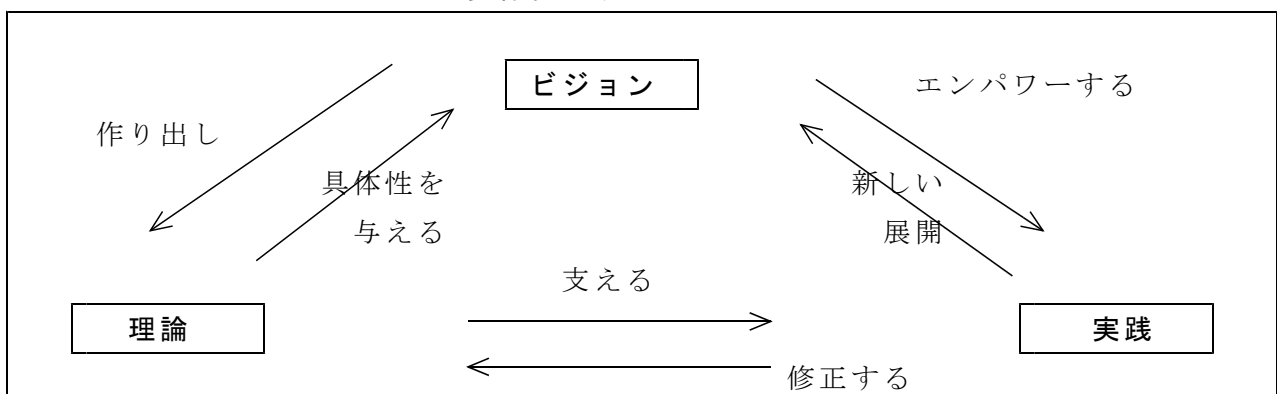
1 「多様性トライアングル」の意義と理論

学校風土や学級風土を創り上げていくためには、まず、学校や学級の『実態』にあった『ビジョン』をもつことが必要である。『ビジョン』をもったうえで、様々な『実践活動』を行うことになるのだが、その『実践』には『理論』の裏付けがなくてはならない。教師が『実践』の裏にかくれた大きな『理論』を自覚していることが大切である。

次に、それを、生徒や保護者に伝えることが必要である。『理論』を伝えることは、教師のねらいに気づかせることになるので、実践のねらいが、さらに深く根づいていくことになる。つまり、きちんと『理論』を伝えていくことは、風土づくりにおいて、大きな効果を生むことになる。

また、『実践』を行った後には『振り返り』をすることが必要である。『振り返り』をする中での『気づき』こそが、『理論』となっていく。例えば、『振り返り』の中で、自分の立場と反対の意見を聞くことは、自分の考えを「広げていくこと」になる。同じ立場の意見を聞くことは、自分の考えを「深めていくこと」になる。縦軸と横軸に広がり深まるものが、『理論』である。

多様性トライアングル



【ビジョン】

4・5月・・・不安，緊張をやわらげ，クラスの中での存在感，所属感をもたせる。

【エクササイズ】

- ① 友達の輪集会：学年集会の形式で行う。血液型別などのある条件のもとに集合させるようにして，友達の輪をつくらせる。その時にはあえて「A型集まれ」ではなく，「同じ血液型で集まれ」と言うことで，生徒同士のコミュニケーションが生まれやすくなる。血液型以外に兄弟の数，星座，生まれ月などの条件でもできる。
- ② 新聞紙パズル：新聞紙をやぶって隣の班と交換してパズルにする。セロハンテープで貼る役，進める役など，自然発生的に役割分担が生まれる。そのことに気づいたり，友達の新しい面の発見があったりする。気づきや発見があるように教師が仕向けていく。そこで生徒の自尊感情が高まる。
- ③ タイタニック：「〇〇中タイタニック」などネーミングしてもよい。1枚の新聞紙の上に何人乗れるかを競う。肩を組んだりおんぶしたり，肌と肌のふれあいがあったり，工夫が見られる。スキンシップは安心感，信頼感を生む。
- ④ トラストフォール：一人が倒れるのをもう一人が支える。倒れる側は怖い気持ちがあるが，支えられたことで一瞬のうちに信頼感を体験することができる。集会の場で教師側の意図で生徒を指名し，デモンストレーションするのも効果的である。

※必ず「振り返り用紙」を準備する→「発見・気づき」につなげる

【ビジョン】

6月・・・個々の自我を主張し，さまざまな衝突が表面化するので，もう一步踏み込んだ互いを思い合う関係づくりを行う。

※ 6月はポイントの月である。「教育相談週間」が入るのも，この月である。4，5月に安心感，風土をつくっておいて，さらなる取り組みが必要となる。
また，「いじめの取り組み」もやっておく。

【エクササイズ】

- ① いいところさがし：1週，2週，3週と続けてやるのもよい。「相手のいいところをみつ
けられることがエライ」と教師側が生徒に伝える。「相手のよいと
ころをみつけれず悩むこと自体が失礼だ」という言葉かけも必要。
班員全員には必ず書く。あとは自由，というやり方でもよい。
その後，必ず何かにつけて「応援メッセージ」「ありがとうカード」
につなげていく。「いいところさがし」をやると必ずクラスの雰囲気
があたたかくなる。何度やってもよい効果があるエクササイズで
ある。
- ② 学級目標 KJ 法：4月に学級目標を決めるやり方もあるが，あえてクラスの雰囲気がで
きてくる6月に決めてもよい。みんなの意見を取り入れるために，付
箋に自分の意見を書かせる KJ 法を使う。

その他，6月に行うとよいエクササイズとして・・・

「心の手紙」「宝さがし」「あなたならどうする？」「SOS 砂漠でサバイバル」「心のキ
ャッチボール」などがある。

【ビジョン】

7月・・・クラスの中の規律が緩みがちになり，また，クラス間格差も広がるので，ま とまりを意識し，雰囲気を引き締め直す。2学期のビジョンづくり。
--

【エクササイズ】

- ① いいところさがし：生徒達から，先生達のチームワークをおびやかすような発言が出て
(教師) くることがある。例えば，「この先生だから，クラスが言うこと聞か
ない・・・」というような。そこで，いろんな先生に対して「いいと
ころさがし」をさせる。大人でもうれしいものなので，受け取った教
師側にも，「きびしさの中にもあたたかさ」「あたたかさの中にもき
びしさ」すなわちカウンセリングマインドが生まれ，信頼関係のうえ
での接し方ができるようになる。つまり，生徒，教師，両方に効果
がある。
- ② 集会：1学期の学級委員の仕事として，クラスの重大ニュースを模造紙に書いて発表し
たり，工夫させる。
- ③ 担任交流：事前に教師同士で打ち合わせをしておく。例えば「清掃交流」であれば，そ
の先生のこだわりをひとつ決めておいて，それを全クラスで徹底させる。
「給食交流」「帰りの会交流」などでもよい。
- その他，「ブラインドデート」などのエクササイズも有効である。

【ビジョン】

1 学期・・・「出会い」「ふれあい」「自己開示」をキーワードに個や集団の支持的風土
の人間関係づくりを目指す（SGE）
同時にリーダーを意識させ、学習規律，生活規律を根づかせる（SST）

※ SGE：エンカウンター

SST：ソーシャルスキルトレーニング

【理論】

エンカウンター（SGE）

【交流】

〈楽しげ〉

ソーシャルスキルトレーニング（SST）

【スキル獲得】

〈しつけ〉

○即効性は「エンカウンター」より「ソーシャルスキルトレーニング」の方が高い。

SST > SGE

しかし，教師も生徒も，満足度は「ソーシャルスキルトレーニング」だけを行っていると，だんだん下がっていく。

「SST」を学ぶ「風土づくり」には「SGE」で培われた「良好な人間関係」が必要である。

「SST」を少し柔らかくし，楽しみながら身につけるために，「SGE」を生かして組み立てる。

つまり，エンカウンター（SGE）と ソーシャルスキルトレーニング（SST）を融合させる。グループエンカウンターを上手に入れていくと，生徒の「内発的なもの」が生まれる。

エンカウンター（SGE）

ソーシャルスキルトレーニング（SST）



楽しみ

しつけ



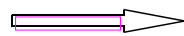
即効性はある

しかしその後のビジョンはあるのか？

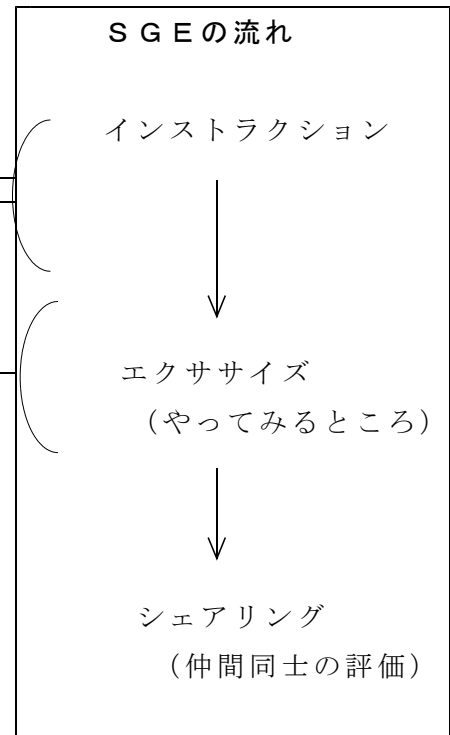
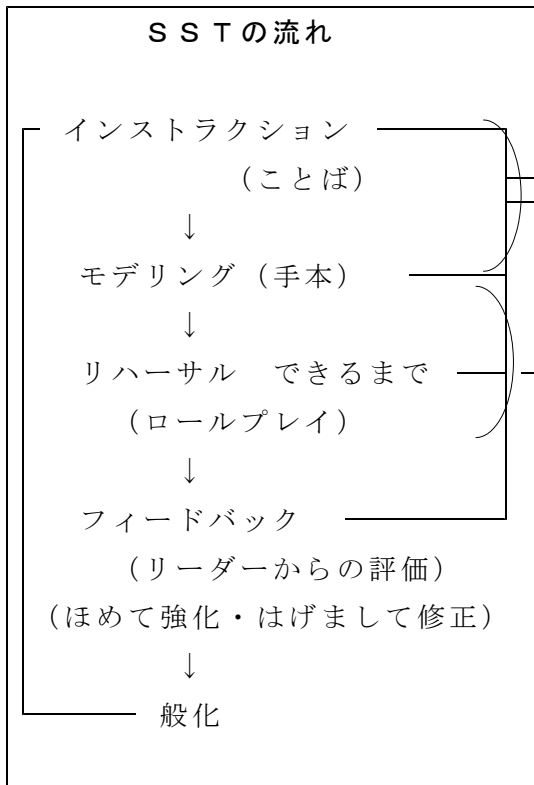
「管理型」では生徒の「満足度」は下がっていく



生かして組み立てる



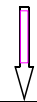
生徒の内発的なものが生まれる



同 質
異 質



実際の場面でうまくできているか
ダメならやり直し

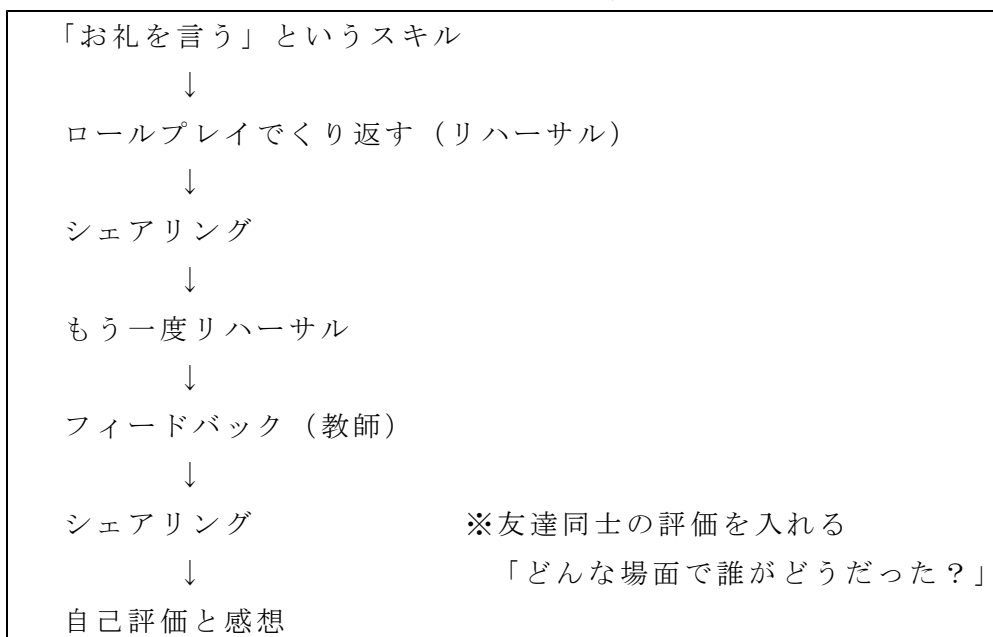


育てたい力を効率よく向上させる
また、その成果となる姿が様々な場
面で役立っていることに、教師は注
意をはらうだけでよい

※ 教師側のストレスもない

実践例

※ ソーシャルスキル (しつけ) の部分でも、少しエンカウンター的なものを入れてみる



〈TR 1〉

「すごろくトーク」

1年生の4月なら、ただトークさせるだけでよい。

2, 3年生なら「聞き方チェックシート」を入れる。

コミュニケーションで一番大切なのは「聴く力」である。その中でも「ノンバーバルコミュニケーション」に着目させる。

そのために、話の聞き方デモンストレーションを行う。その時に、「逆刺激」から入るのも有効である。つまり、悪い見本を見せながら、生徒から「よい聞き方」をひきだしていく方法である。



二人一組で「すごろくトーク」を実験しました。サイコロを振り、出た目まで進んでいく、いわゆる「すごろく」ですが、止まったところに書いてある話をするわけです。例えば、「好きなタレント」とか、「自慢話」「一億円手に入ったらすること」など。

はじめて会った人同士でも、相手の背景がみえてくるような話を聞くことができました。例えば、最近インターネットにはまっていることや春に海外旅行に行くことなど……。普通、はじめて会ったばかりでは聞けない話も聞くことができ、相手に対して一瞬のうちに親近感がわきました。また、よく知っている者同士でやってみても、意外に知らなかった相手のことがわかって、新鮮な気持ちになりました。生徒も楽しんでやりながらも、お互いのことを理解し合うことができるでしょう。そして、何より簡単です。「すごろくトーク」のシートとサイコロさえあれば、すぐできます。サイコロは手作りでもOKです。すぐに自分のクラスでやってみたくなるエクササイズでした。生徒がやるときは、二人一組でも三人一組でも班単位でも、その場やねらいに応じてやれます。

〈TR 2〉

「ブラインドデート」 「私は誰でしょう」

やり方を変えただけで、同じねらい。

自己開示・他者理解 → 自己理解・他者受容

「ブラインドデート」

- 生徒が自分の特徴について記した用紙を教師が集めて読み、誰が書いたかを当てる。その時に、秘密めいたことやこんな一面をもっていたんだという、その人の背景がみえるような、新たな気づきがあるような内容にする。ヒントの作り方がポイントである。

※ワークシート参照

生徒に興味をもたせるために、最初にやり方を説明するとき、下記のようなデモンストレーションを行うのも効果的である。

- | | |
|---|--------------|
| <p>① 好きな色は「青色」です
② 性格は、よく気がつき、優しい
③ 男の子と同じ部屋に住んでいます
④ その男の子は頼りないので、いつも助けてあげています
⑤ 役に立つ道具をたくさんもっています</p> | 答えは「ドラえもん」です |
|---|--------------|

例えば進路学習として「仕事」に置き換えて行うこともできる。

- ①その仕事は室内でします
- ②手先の器用な人がします

・・・というように、発想さえあれば、いろいろとアレンジすることができる。

※「エンカウンター」の本はたくさん出ているので、それを読めば、エクササイズの実例もたくさん知ることができます。しかし、それを実際にどんな風に行うのか。そこで「教師の力量」が問われるのかもしれない。大切なことは「発想」です。それと、各先生方の「持ち味」「その人らしさ」何を「ねらい」としていて、生徒達に「どんな力」をつけたいのか。それがはっきりしていれば、必ず成果があらわれます。重枝流と同じ必要はありません。自分なりの発想で、いろいろなエクササイズにチャレンジしてみてください。

「私は誰でしょう」

集団がマンネリ化したときに効果的なエクササイズである。少しレベルをあげてやってみる。クラス全員が書いた用紙を教室にはって、誰が書いたのかを競争して当てさせる。相手のことをもっと知りたいという刺激を与えることで、生徒同士の関係に活気が出てくる。お互いに興味をもてればよい。後味がよければよい。

※ワークシート参照

今回の学習会での「キーワード」

- | | |
|--|------------------------------|
| <input type="radio"/> 多様性トライアングル | <input type="radio"/> シェアリング |
| <input type="radio"/> エンカウンター (S G E) | <input type="radio"/> 般化 |
| <input type="radio"/> ソーシャルスキルトレーニング (S S T) | <input type="radio"/> 自己開示 |
| <input type="radio"/> インストラクション | <input type="radio"/> 他者理解 |
| <input type="radio"/> モデリング | <input type="radio"/> 自己理解 |
| <input type="radio"/> ロールプレイ | <input type="radio"/> 他者受容 |
| <input type="radio"/> フィードバック | |

♪ 学習会に参加された先生方の感想♪ (参加人数 39名)

- はじめて参加しました。難しい単語も多く、理解するのに時間がかかりましたが、わかりやすく説明していただきました。ありがとうございます。とてもおもしろい内容で、自分もやってみたいと思いました。きっと生徒も良くなっていくと思いますが、やる側の技量と想像力がためされると感じました。
- 一学期の教師側の心構えや持つべきビジョンなど、何となくわかってやっていたけど、今回のように文字できちんと示されると、自分の中で再確認できたり、また発見があるのでよかったです。4月はとにかくクラスや学年の人間関係づくりが大切だと思うので、とてもためになりました。今回のように1年間のこの時期にこういう考えでこのようなエクササイズがおすすめという感じの学習会は、単発の活動ではなく、見直しをもてるので、参考になります。
- S S T, S G Eの対比、つながりがわかりやすく、頭の中では今まで1つのまとまりで、違いとか深く考えずにいました。明確でわかりやすい！！と思いました。すごくトークで話ができて、楽しかった。
- 毎回、2つずつのエクササイズを学校にもどって、すぐに実践させてもらっています。初めはうまくいかなかったり、反応が良くなかったけれど、繰り返していくうちに、生徒も教師側も楽しくなってきます。次回もよろしくお願いします。
- 3学期に入ってからは、何回かエンカウンター授業を取り入れました。授業自体は盛り上がったのですが、振り返りがしっかりできなかったのが大きな反省点でした。ブラインドデートなどを1年のしめくくりとしてやってみようかと思いましたが、今度はしっかり計画をたてて臨みたいです。まだまだ勉強不足なので、これからは貪欲に学んでいきたいです。
- 今回もすばらしい内容で感動しました。月に1度しかないのが残念ですが、こういう刺激を与えてもらって、とても感謝しています。本当にお得な時間をもらっています。また今回もたくさんの気づきがあったし、前回よりもさらに明確になったものもあるので、いくつかのエクササイズはすぐに実践します。
- 私は今、小学校1年生の担任です。1年生は「しつけ」が中心となって、友達同士のコミュニケーションまであまり考えられませんでした。私は高学年を受け持ったことが無く、クラブ等に関わる時に「しつけ」だけでは人間関係がうまくいかないのでは、と思ってこの会に参加させてもらいました。小学校5、6年生にも使える実践例がたくさんありました。ありがとうございます。
- 実際にエクササイズを生徒にしたときの反応を考えながら、先生の話聞いていました。自分の頭の中では、皆笑顔でした。
- 理論と実践が両方学べる会というのが、この学習会の良さだと思います。なかなか学習する機会もないので、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの関係は、とても勉強になりました。
- 理論があつての実践だと思ってはいても、私自身、深く考えずに新しいアイデアにとびついてやってみるといふところがあるので、重枝先生の理論をお聞きして、「な～るほど」と感じました。理論が聞けてよかったです。